4 各部名称とはたらき

制御ユニット
（発振器）

表示ランプ
制御ユニットの電源が ON のとき緑色で点灯します。
発振時は赤で点灯します。

発振時間調整つまみ
材質や厚みに応じて発振時間を調整します。

出力プラグ

振動子
この部分が振動します。

電源コード

差し込みプラグ

カールコード

ハンドル

シール器本体

アンビル
パックを下から押えつけます。

● 制御ユニット (裏側)

電源スイッチ

電源コード
インレット

● 電源コード

差し込みプラグ

アウトレット

5　正しい使い方

お使いになる前に

⚠ 注意　本品の制御ユニット (発振器) に、US-60 および US-60B のシール器本体を接続して使用しないでください。

⚠ 注意　この超音波ポイントシーラーはフードパックフィルムの他、シート等にご利用できます。それらの材質には、素材・厚み・形状・表面処理などさまざまなものがあります。一度お試しのうえご使用ください。

⚠ 注意　本品は自動機の中に組み込む量産ラインでは使用しないでください。

5-1　アンビルについて

アンビルについて下記の事項をご確認のうえ、作業に最適なアンビルを選択してください。

⚠ 注意　材質により溶着できないものがありますので、ご注意ください。

MEMO　アンビルの交換については、「6-1 アンビルの交換」をご覧ください。

● 付属アンビルの名称・形状

アンビル A	アンビル B

工場出荷時は、シール器本体にアンビル B が装着されています。

● アンビルの使い方

[アンビル A]

材質 A-PET　および異材質のフードパック等や、一箇所で強く溶着する場合等にご使用ください。また、アンビル B にて溶着が不完全な場合にもご使用ください。

[アンビル B]

材質 OPS 、PVC (塩ビ) 等のフードパックや比較的溶着性のよいものにご使用ください。

5-2　シール器本体受けの取り付け

両面テープ

1 シール器本体受けは制御ユニットに両面テープで取り付けます。

制御ユニットへの取り付け面に指定があるので注意してください。

剥離紙を取り外し、左図を参照して取り付けてください。

取り付けイメージ図

⚠ 注意

シール器本体受けは粘着テープで固定しますが、粘着力がおちて剥がれる場合があります。
その場合は市販の両面テープ（金属、プラスチック用）で貼り直してください。

5-3　シール器本体の接続

制御ユニット

シール器本体出力プラグ
凹みが上側にくるように取り付けます。

1 差し込み方向に注意しながら、左図のとおりシール器本体の出力プラグを制御ユニットに接続してください。

⚠ 注意　差し込み方向に注意してください。凹みが上になるようにしてください。

5-4　電源コードの接続

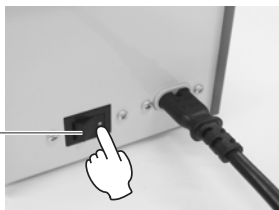
制御ユニット（裏側）

電源コードアウトレット

1 電源コードのアウトレットを制御ユニットに接続してください。

2 電源コードの差し込みプラグをコンセントに接続してください。

⚠ 警告　電源は適正配線された交流 100V のコンセントをご使用ください。差し込みプラグは根元まで確実に差しこんでください。

5-5　溶着

1 制御ユニットの電源スイッチを ON にします。表示ランプが緑色に点灯します。

2 発振時間調整つまみを調整します。シールするパックの厚さや素材に応じて発振時間調節つまみを調整してください。

・最小 (MIN):0.5 秒

・最大 (MAX):1.7 秒

⚠ 注意　最小目盛 (MIN) 以下、最大目盛 (MAX) 以上にはつまみを回せません。壊れますので無理に回さないでください。

MEMO　発振時間は溶着具合に差し支えのないかぎり短い時間に設定してご使用ください。

3 溶着する部分を左図のように振動子とアンビルではさみ込むようにしてハンドルをにぎると、発振し溶着できます。
発振中は、表示ランプが赤色で点灯します。
はさみ込む途中で止めることなくスムーズに握ってください。
また、力いっぱい握らないでください。

⚠ 注意 連続して作業するときは、作業間隔を 5 秒間あけてください。これより短い間隔で連続使用されますと、振動子が発熱し、寿命が著しく短くなります。

⚠ 注意 作業間隔 5 秒以内で連続して作業を行うと、制御ユニットの保護装置が作動する場合（表示ランプが緑色で 2 回点滅）があります。この時ハンドルを握っても表示ランプが赤色に変化せず、発振もしなくなります。
制御ユニットの電源を ON にした状態で、作業を中断してください。5 ～ 10 分程度で保護装置は自動的に解除されます。

MEMO 表示ランプが赤色に点灯している間だけ発振していますので、ランプが消えたらハンドルを離してください。

MEMO ご使用中にキーンという音がする場合がありますが、異常ではありません。

MEMO 制御ユニットに冷却ファンが搭載されております。発振中に冷却ファンの音が変わる場合がありますが、異常ではありません。

5-6　ご使用のあと

1. 制御ユニットの電源スイッチを OFF にしてください。
2. 電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
3. 電源コードのアウトレットを制御ユニットから取り外してください。

⚠ 注意　使用後は溶着部 (振動子) が熱くなっている場合がありますので、注意してください。